

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●天皇賞(春)はフィエールマンが連覇

5月3日(祝・日)に行われた天皇賞(春)(G I)ではフィエールマン(牡5歳/美浦・手塚貴久厩舎)が昨年に続き優勝、史上5頭目となる同レース連覇を達成しました。前走・有馬記念以来、中132日での勝利は、1941年マルタケの中160日に次ぐ史上2番目に長い記録。また鞍上のクリストフルメル騎手(栗東・フリー)は2018年天皇賞(秋)をレイデオロ、2019年天皇賞(春)をフィエールマン、2019年天皇賞(秋)をアーモンドアイで制しており、天皇賞4連勝を達成。これは史上初の記録となります。

●福永祐一騎手がJRA通算2300勝を達成

5月3日(祝・日)の2回東京4日・第2レースではサイモンルグランが1着となり、同馬に騎乗した福永祐一騎手(栗東・フリー)は、史上5人目、現役では4人目となるJRA通算2300勝(1万7646戦目)を達成しました。

●田中勝春騎手がJRA通算2万回騎乗を達成

5月3日(祝・日)の2回東京4日・第5レースでボンヌチャンスに騎乗した田中勝春騎手(美浦・フリー)は、この騎乗で史上5人目、現役5人目となるJRA通算2万回騎乗を達成しました。

●森秀行調教師がJRA通算700勝を達成

5月2日(土)の3回京都3日・第4レースではエヒトが1着となり、同馬を管理する森秀行調教師(栗東)は、史上53人目、現役では8人目となるJRA通算700勝(延べ7583頭目)を達成しました。

●石栗龍彦調教師がJRA通算100勝を達成

5月3日(祝・日)の1回福島8日・第1レースではツインシップが1着となり、同馬を管理する石栗龍彦調教師(美浦)は、現役149人目となるJRA通算100勝(延べ3575頭目)を達成しました。

●春の福島リーディングジョッキーは西村淳也騎手

5月3日(祝・日)をもって1回福島競馬が終了し、11勝をあげた西村淳也騎手(栗東・フリー)が、自身初となる開催リーディングジョッキーに輝きました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●かしわ記念(船橋)はJRA 6頭中最低人気のワイドファラオ

かしわ記念(Jpn I、5月5日、船橋、1600m)は、先手を取った6番人気のワイドファラオ(福永祐一騎手、牡4歳、父ヘニーヒューズ)が5番人気のケイティブレイブに2馬身差を付けてJpn I初制覇。3番人気のサンライズノヴァが3着に入り、アルクトスは4着、1年5か月ぶりの出走で2番人気のルヴァンスレーヴは5着、1番人気に推されたモズアスコットは6着に敗れています。

●バーナードループが兵庫チャンピオンシップで人気に応える

兵庫チャンピオンシップ(Jpn II、3歳、5月6日、園田、1870m)は、3番手を進んだ1番人気のバーナードループ(クリストフルメル騎手、牡、父ロードカナロア)が、先に抜け出した2番人気のダノンファラオをゴール寸前でクビ差捉えました。3番人気のサンデーミラージュが3着、逃げたマカオンブランは6着、ヒルノマリブは11着でした。

●かきつばた記念(名古屋)はラブタスが逃げ切って重賞2連勝

かきつばた記念(Jpn III、5月4日、名古屋、1400m)は、逃げた単勝1.6倍で断然人気のラブタス(幸英明騎手、騾4歳、父ディーブブリランテ)が3番人気のノボバカラを3馬身引き離し、黒船賞に続いて重賞2連勝を達成。リアンヴェリテは4着、2番人気のアディラートは7着、ラブカンパーは10着に終わっています。

※地方競馬は2月下旬より無観客開催となっておりますが、最新の開催情報については各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1アーカンソーダービーが2つに分割されて開催

新型コロナウイルスの影響で4月11日から5月2日に延期されていた今年のアーカンソーダービー(3歳、ダート1800m、米国アーカンソー州オークローンパーク競馬場)は出走希望馬が多いため、2レースに分割して施行されました(どちらもG1)。まずこの日の第11レースとして行なわれた1レース目のアーカンソーダービー(9頭立て)を制したのはシャーラタン(牡、父スパイタウン)。M. ガルシア騎手を背に抜群のスタートから楽に先頭に立つと、そのまま後続を寄せ付けずに6馬身差で逃げ切りました。同馬はこれで今年2月のデビューから3連勝。重賞初挑戦初制覇をG1で飾りました。そのおよそ1時間15分後に、この日の第13レースとして行なわれた2レース目のアーカンソーダービー(9頭立て)は、J. ロザリオ騎手が手綱を取ったナダル(牡、父ブレイム)が2番手追走から4コーナー手前で早くも先頭に立つと、最後は流す余裕を見せながら3馬身差で優勝。今年1月のデビューから4連勝としました(重賞は2月のG2サンヴィセンテS、3月のG2レベルSに続く3勝目)。この2頭はともにB. バファート厩舎の管理馬です。なお、勝ちタイムは、ナダルが1分48秒34で、シャーラタンのそれを0秒15上回りました。